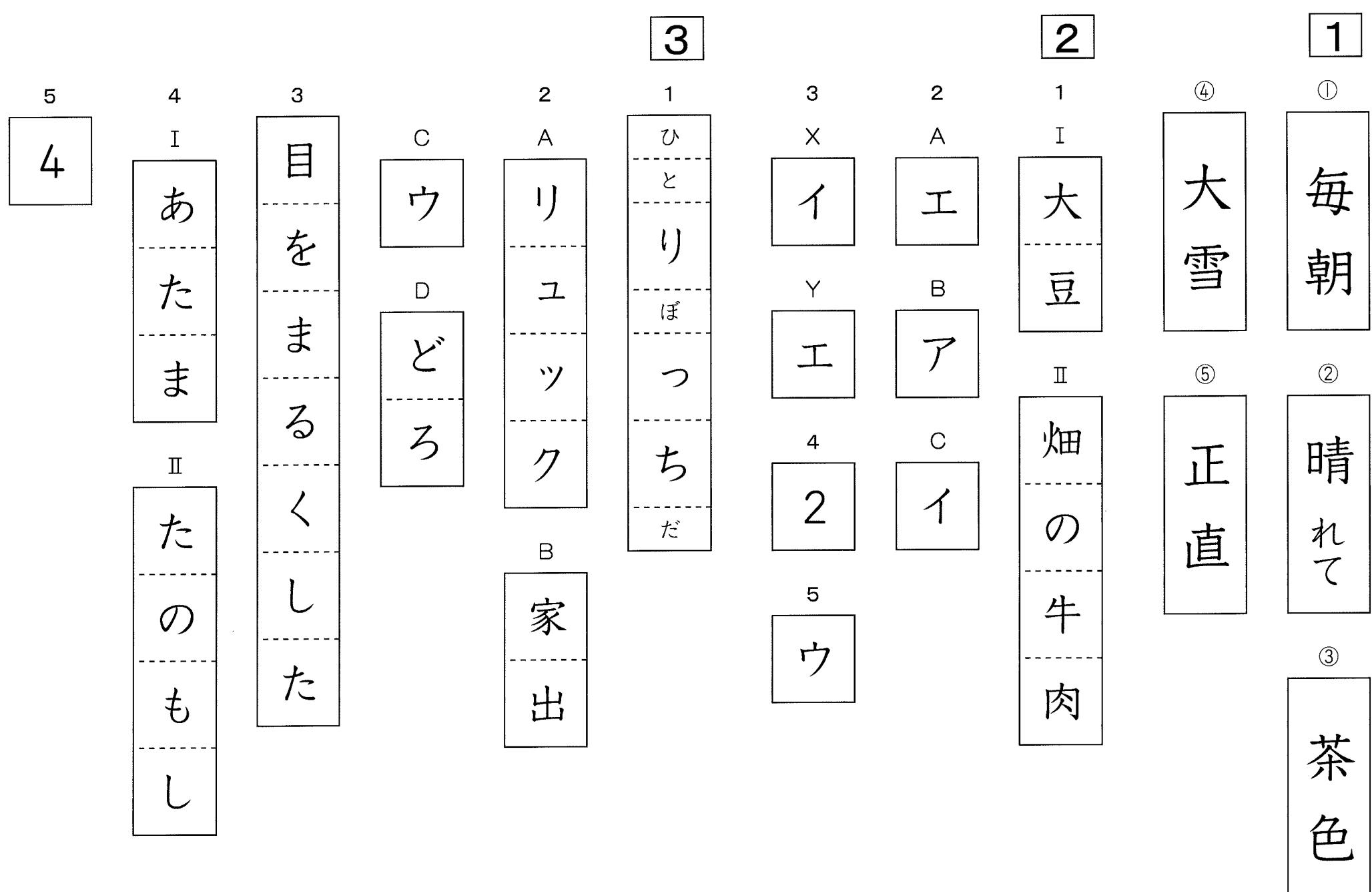


## 希学園 第405回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第405回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年2月8日実施)	<a href="https://vimeo.com/1162804986/c8a772c3fe">https://vimeo.com/1162804986/c8a772c3fe</a>



配点

1	各 2 点 × 5 = 10 点
2~3	各 5 点 × 18 = 90 点
<計> 100 点	

- ① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①の「毎」は中の部分が「母」のようにならないようにしよう。「朝」は左側の部分を「車」のようにしてはいけない。②の「晴れ」の「青」の下の部分は「月」とちがつて一画めは左はらいにせず、まっすぐ下におろす。③の「茶」の中の部分は「木」のようにしてはならない。④の「雪」は「あめかんむり」の下に「ヨ」のように書く。「雲」とともに正しくおぼえておこう。⑤「正直」の「直」は「チョク・ジキ・なお(す)」ただ(ちに)と読む。

〔2〕 西本鶏介 監修 やなぎや・けいこ 文 『社会科はじめて大百科7 食べもの』

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

- 1 I 「材料」は物を作り出すもとになるものである。本文中には「材料」ということばはなかつたが、「とうふは大豆からつくられます」とあつた。  
II 「とうふ」が「何とよばれてい」るかという問い合わせではない。「とうふ」の「材料」である「大豆」が「何とよばれてい」るのかを考えなくてはいけない。問い合わせの「よばれて」から「いわれる」に目が向くようになつてほしい。
- 2 A 「きりがない」は終わりがないということで、この場合は「とうふをつかつた料理」がたくさんあるということである。  
B 「手ごろ」はその人の実力や希望にちょうど合つていること。「ねだん」の場合は、高くなくて買いややすいということである。

- C 「さかんに」はいきおいのよいようす。この場合はよく「とうふを食べるようにな」つたということ。

- X とうふは日本人の生活にとけこんでいる → でも → とうふはもともと日本のものではない。

(あとに意外な内容が続いている)

- Y おぼうさんたちが肉のかわりにとうふを食べるようになつた → ですから → とうふはおぼうさんたちが食べていた料理とともにひろまつていつた。

(とうふがひろまつたのはおぼうさんたちのおかげである)

- 4 「健康食品」ということは体によいということである。「すぐれたたんぱく質」「栄養もたっぷり」「消化がいい」とあつた。「とうふ」が「健康」によいことを「もつともよく」書いてあるのは、どの「段落」かという問い合わせである。

- 5 日本は周囲を海に囲まれていて「海の外」は「外国」なのである。

〔3〕 藤田千津 『家出しちやつた』

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

- 1 「みんな」には家族やペットがいる。「家出」してきた自分だけ「ひとりぼっち」なのである。  
2 A 「マコト」が「しょつて」いるものである。背負うは背負うのくだけた言ひ方である。  
B 「まるで家出してきたみたい」に対して「そうだよ」と答えている。  
C 「ぶすつと」は不きげんなようすである。ア「すきつと」ではすつきりしてることになる。イ「どきつと」は、その話を聞いた人のようすであろう。エ「ふらつと」は急な思いつきで何かをするようす。または、よろめいたりぼんやりしたりするようす。  
D 「どろんこのうわばき」を「まわつてせんたくにほうりこんだら」せんたくものが「せんぶ」「どろだらけ」になるだろう。  
3 どちらもおどろいているようすである。「田」ということばがヒントになつていた。  
4 I 「チコちゃん」は何が「いい」子であったか。  
II 「マコト」が「チコちゃん」に「マコトの家出をなんとかしてもらおう」と思ったのは、それができそな人だからであろう。「チコちゃん」のよいところをさがそう。  
5 ○の文の最後の「だけど」に注目してほしい。「どうきゅうせい」なのに「マコト」は「チコちゃん」の「子ぶんみたい」になつていてある。一は「どうきゅうせい」の場面ではない。2も3も「どうきゅうせい」「だけど」にあたる内容ではない。